

議会議員視察研修

山口県光市・周防大島町を視察

町議会の三常任委員会は昨年10月29日から31日にかけて、合同の行政視察を実施しました。視察先としては友好都市として交流を深めている山口県光市の訪問と、光市が運営している農業振興拠点施設「里の厨」の運営状況について、また定住対策に取り組んでいる、同県周防大島町の視察を行いました。「里の厨」は、農業従事者の高齢化や担い手の減少、耕作放棄地増加等地域農業が抱える様々な問題を解消し、地域農業の振興を目指す拠点施設として平成23年7月24日に開設されました。その取組として「地場産品の消費拡大」「新鮮で安心安全な食材の提供」等の地産地消の推進、また「農地荒廃の防止」「農業後継者の育成、新規就農の促進」等地域農業の振興、また「生産者と消費者の交流による活性化」「第6次産業化」等の地域活性化、また「日本型食生活の見直し・郷土料理の伝承」「給食食材の地場産品の供給や食農教育の充実」等食育の推進、また「周辺観光資源の情報発信」等観光振興の強化など幅広い目的達成のため創設されました。店舗内には多数の陳列コーナーが設けられ、地場産品、加工品、切り花、鮮魚、精肉品が所狭しと並べられており、焼き立てのパンコーナーは人



大島大橋

気No.1とのことでした。体験室、研修室も併設されており、施設機能の充実が図られている施設でした。町に於いて検討が開始された産直交流施設の開設に参考となる視察でした。

定住対策について視察した周防大島町は、瀬戸内海で3番目に大きな島で、全域が瀬戸内海国立公園に指定され、主な産業は農業、漁業、観光となっており、過疎化、高齢化も高くなっておりですが「長寿の島」「生涯現役の島」として知られています。町では人口減少に歯止めをかけるため、定住対策を最重要課題と掲げ取り組んでおり、また「子供支援策として」小学校6年生迄の医療費無料化」「14回の妊産婦健診の公



費負担」「私立保育所施設整備助成」「2人目以降保育料無料化」等町の将来を担う若者が定住し、安心して子育てが出来る環境作りを推進している。また平成24年4月から「定住促進協議会」を発足し、UJITター支援のため住まいと仕事の情報の一括管理、提供を行っている。また空き家バンクへの登録を前提に、空き家リフォームや家財処分費用助成等空き家を有効活用した定住促進を官民挙げて積極的に推進している。人口減少問題は当町に於ても重要課題であり大変参考となる視察であった。



山口県光市「里の厨」

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は、議会のありのままを公開する本紙「横芝光町議会だより」を御愛読いただき感謝申し上げます。本年も、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年12月の定例議会では、6名の議員から一般質問がなされ、壇上にて白熱した議論が行われました。また、町長提出議案13件は、慎重に審議が尽くされた上で、可決承認されました。今後も町議会は、執行部に対するチェックを厳しく行ってまいります。

本紙については、これまで、読まれ、親しまれ、議会活動が伝わる、をモットーに、議会の活動を住民の皆様へ伝える一助となるべく、議会広報委員一同、紙面づくりに取り組んできたところです。今後は、住民の顔の見える紙面づくりなどといったことも意識しながら、より一層充実した議会広報誌となるよう努力してまいります。

町民の皆様におかれては、今後とも、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。

総務常任委員長

若梅 喜作

広報委員 齋藤 順一